

【目次】

団体	No.	要 望 ・ 意 見	担当課
赤岡町まちづくり協議会	1	学校等の規模適正化について	学校教育課
赤岡町まちづくり協議会	2	香南海岸の国直轄化整備の現状について	建設課
赤岡町まちづくり協議会	3	津波避難タワー内の仮設トイレについて	防災対策課
赤岡町まちづくり協議会	4	災害時に必要な生活用水を確保するための打込み井戸について	防災対策課
赤岡町まちづくり協議会	5	市道(商店街・通学路)の維持管理について	建設課・学校教育課
赤岡町まちづくり協議会	6	消火栓ボックスの管理について	消防本部

NO.	赤岡町まちづくり協議会 1 学校等の規模適正化について
受 付	令和6年7月30日 火曜日 赤岡町まちづくり協議会ふらっと座談会で意見聴取
要望・意見	①赤岡小学校創立150周年記念事業の時に、「赤岡小学校がなくなるのは嫌だ」といった意見や、小学校がなくなるのではないかと危惧されている方がいました。 また、子どもがいる世代は、無理に統廃合を進める必要があるのかとの意見もあるし、住民の皆さんも小学校を大事に思っているので、絶対統廃合ありきで進めていってほしくない。以前の説明会では住民の意見も聞きながら統廃合ありきではないと聞いているが皆さん不安があるので、現在の状況、統廃合への考え方や進め方を知りたい。 ②意見聴収のアンケートで、人権・同和教育についての意見も出ていたと思うが、市としてどのように取り組んでいくのか。
対応状況等	■地域への回答内容■ 【 学校教育課 】 ①4月から6月末にかけて香南市の学校等規模適正化に関する意見聴収のアンケートを実施しました。その結果合計173名の保護者の方や地域住民の皆様から206件の貴重なご意見をいただきました。これらのご意見やそれらに対する回答に関してはホームページに掲載しています。 いただいたご意見などを基に複数の再編案を作成し年内には市のホームページに掲載します。また、年明けには地区説明会を開催するとともに保育所、幼稚園、認定こども園に対する説明会も連動して開催したいと考えています。その後、大人だけではなく子どもも含めた複数の再編案に対するアンケート調査も予定しております。令和7年度には調査結果を踏まえて保護者の皆さんや学校関係者、地域の皆様と協議を重ねながら基本計画の案を作成していきたいと考えています。 【 学校教育課 】 ②どの地区におきましても人権・同和教育は大切なことなので各小学校・中学校で計画的に学習を行っており、市としては今後も引き続き取り組んでいきます。また教職員の研修にも力を入れて取り組んでいきます。
担当課	学校教育課

NO.	赤岡町まちづくり協議会 2 香南海岸の国直轄化整備の現状について
受 付	令和6年7月30日 火曜日 赤岡町まちづくり協議会ふらっと座談会で意見聴取
要望・意見	香南海岸の国直轄化整備要望について、現在の状況を教えてほしい。
対応状況等	■地域への回答内容■ 【 市 長 】 香南市海岸の堤防は砂の上に防潮堤がのっている形ですが、土佐市、高知市、南国市はインプラント工法といった杭を砂の中に打ち込み、揺れや波に強い堤防を造っていく工事を行っており、ほぼ終わっている状況です。 香南市は令和2年から期成同盟会に加わり、3市より遅れて入ったこともあり工事認可に至っていませんが、現在工事中の3市が今年度で工事完了の目途がたっています。その順番でいけば同じ海岸で次は香南市ということになり工事に入りやすいのではないかと考えています。そういった事も含め、国の方に香南市単独での陳情も行っています。 また、8月末には、吉川海岸、赤岡海岸、岸本海岸の管轄である国土交通省水管理国土保全局へ、令和7年度に防潮堤の強靱化工事に移っていただけるように陳情する予定です。
担当課	建設課

NO.	赤岡町まちづくり協議会 3 津波避難タワー内の仮設トイレについて
受 付	令和6年7月30日 火曜日 赤岡町まちづくり協議会ふらっと座談会で意見聴取
要望・意見	津波避難タワー内にはトイレ用のブースは確保されている。そこに洋式便器を設置すれば、大人やこども、弱者も使えるのではないかと。 津波避難タワーには、弱者に配慮した仮設トイレを設置してほしい。
対応状況等	■地域への回答内容■ 【 防災対策課 】 津波避難タワーには、トイレ用ブースで利用できる仮設トイレを備蓄しております。この仮設トイレは、高さが調整できるタイプで高齢者の方にも使いやすいものになっています。 収容人数によって設置する数が決まっており(100人に1ブース)各津波避難タワーに備蓄しています。 また、赤岡小学校体育館の横と城山高校にマンホール型のトイレ(地下に埋め込むタイプ)と飲料水を確保する施設の工事を現在行っています。
担当課	防災対策課

NO.	赤岡町まちづくり協議会 4 災害時に必要な生活用水を確保するための打込み井戸について
受 付	令和6年7月30日 火曜日 赤岡町まちづくり協議会ふらっと座談会で意見聴取
要望・意見	「能登半島地震、3月下旬で断水3か月、人間的生活送れない」という記事がありました。避難所で生活をするためには生活用水の確保が必要である。 井戸は地震や津波で泥や塩水が入るため、生活用水のための打込みパイプを設置して手押しポンプをつけてほしい。
対応状況等	■地域への回答内容■ 【 防災対策課 】 東日本大震災以降に飲料水確保が重要であることから、自主防災組織を通じて市民の方が提供してもいいというような協力井戸の調査を行いました。が、水質的に飲料水に適さないという事で井戸の活用は見送ってきました。しかし、今回の能登半島地震で生活用水の確保も必要なことが判明しましたので、今年度から再度協力井戸の調査を開始したいと思います。その際に井戸に手押しポンプや既存の電動ポンプといった設備があるかどうかと一緒に調査し、地域の方々が利用可能な井戸に手押しポンプの設置が必要な場合には、補助金の創設も考えていきたいと思っています。
担当課	防災対策課

NO.	赤岡町まちづくり協議会 5 市道(商店街・通学路)の維持管理について
受 付	令和6年7月30日 火曜日 赤岡町まちづくり協議会ふらっと座談会で意見聴取
要望・意見	商店街や通学路の道路に陥没やひび割れがある。自転車に乗った高齢者が転倒したのを見かけたこともある。通学時や日常生活、災害時の避難にも支障を来すのではないのでしょうか。 市道の維持管理、補修の優先順位について教えてください。
対応状況等	■地域への回答内容■ 【市 長】 一般の市道については定期的に建設課が見回っており、異常箇所については補修していくことになっております。また、要望箇所を上げて月1回課内で協議し、交通量や破損具合によって優先順位をつけて順次対応しています。 また、通学路に関しましては年に1回それぞれの学校単位で通学路の危険箇所を上げてもらい、学校教育課や建設課、関係機関を含めた協議会を開き、上がってきた箇所に対し優先順位をつけ順次対応していくことになっています。 また、危険箇所等を見つけた場合は、支所にご連絡いただければ建設課へつないで対応いたします。
担当課	建設課・学校教育課

NO.	赤岡町まちづくり協議会 6 消火栓ボックスの管理について
受 付	令和6年7月30日 火曜日 赤岡町まちづくり協議会ふらっと座談会で意見聴取
要望・意見	消火栓ボックスについて、ホースの劣化やボックスの破損等が多く修繕費が必要になることや、住民が使用することの危険性があることで消火栓ボックスを撤去することとなった。しかし、消火栓ボックスがなくなると困るという意見も多くある。市の意見をお聞きたい。
対応状況等	■地域への回答内容■ 【市 長】 消防本部からは、『消防団の本部会や、自主防災組織連絡会において、老朽化した消火栓ボックスは撤去していく。設置を希望する組織・団体には補助金を活用し、任意設置ができるようにする。また、訓練は消防署又は消防団が対応する。そして、消火栓ボックスではなく、消火器を希望する場合にも補助金が活用できることの説明を行い、消火栓ボックスの撤去を進めている。』と聞いております。 消火栓ボックスを残してほしいという意見もあると思いますが、水圧の問題などで逆に事故の恐れもあるのではないかと思います。 消防団もしっかりとしているので、訓練を行った方が消火していただくのが、一番早くて正確な消火活動ができるということもあるのではないのでしょうか。 消火栓ボックスがあるという安心感もあると思いますが、消火器の方が使いやすいのではないのでしょうか。そういった事も含め消防本部より消防団や各自主防災組織に周知や説明できるよう伝えます。 ■後日回答■ 【消防本部】 消火栓や消火栓ボックスの取り扱い訓練依頼は、香南市全体でみても1年に1回あるかどうかという状況であり、訓練ができていません。また、訓練を行おうとしても、火災時以外は消火栓水を使えないので水圧をかけた訓練ができません。通水し水圧がかかった状態のホースを持ったことがない住民が初期消火で使うことには大きな危険を伴います。 「住民が使える状況」と「安全性」が確保できなければ、消火栓ボックスをこのまま残すことは難しく、機材の老朽化が進んでいることもあり、順次撤去していくことといたします。 重要なことは各家庭に消火器を1本以上置くこと、そして火災を起こさないように各自が火の取り扱いに十分注意しておくことです。 ※元々消火栓ボックスに設置義務はないので消防署からは取り扱い訓練の要請をしていません。 ※家庭に置く消火器には補助金は使えません。
担当課	消防本部